

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙２）

団体名	麻生プレーパークを創る会
-----	--------------

取組の名称	万福寺檜山公園 in 外遊びの会
実施場所	万福寺檜山公園、黒川野外活動センター、多摩美の森（麻生区市民健康の森）
対象地域	麻生区
対象地域の特色・課題	麻生区には自然豊かな公園が、多くあるがあまり活用されていない。乳幼児親子向けイベントは屋内型が主流であり小中学生になると塾や習い事で忙しく公園で遊ぶ姿は少ない。外で暑さ寒さに晒されながら遊ぶ体験（時間）が減少している。自然豊かな公園を、活用した子育て支援活動を考える必要を感じる。
取組の趣旨・目的	公園の利活用を兼ねて外遊びを通じた乳幼児親子や学校に行かずに過ごしている子どもたちの異年齢交流の場を作る。公園と云うオープンな環境でする多様な遊びや一緒に作って食べる体験が、子ども同士の関係を深めたり子育て中の親の気持ちを癒やす機会になることを願う。一方で子どもたち各々のペースを尊重し全員参加は求めず寛げる場作りを工夫しながら個が尊重される伸びやかな環境作りを目指す。
実施内容・実施スケジュール	① 月２回（5,6,7,8,9,10,11,2月） 11時～15時 万福寺檜山公園草っぱら広場 ・遊びの提案・創作活動・本の読み聞かせ ・お昼ご飯を作る、食べる。 ② 年２回(12、3月) 10時～16時 黒川野外活動センター、多摩美の森 ・講師依頼・火を使った活動・木工作・ダーニング講座・お餅つき・お昼ごはんとおやつを作る、食べる。

参加者の年代	① ②0～18 才 (保護者 30～40 代)	定員 (1 回あたり)	20 名程度
実施頻度	月 1～2 回	活動日数 (年間)	17 日
スタッフ体制	① ボランティアスタッフ 2 名 運営スタッフ 1 名 ② ボランティアスタッフ 3 名 運営スタッフ 1 名 講師 1 名		
連携する団体・ 連携の手法	・本事業実施のため檜山公園愛護会と連携し公園の利用許可を貰い道路公園センターに申請をする。 ・自主保育こめっこ OB 会と連携しボランティアスタッフとして協力を得る。 ・不登校児を抱える親と連携しインスタグラムを活用して本事業を広報する。 ・各子ども関連施設と連携し年 2 回チラシを配布する。(子ども文化センター・麻生市民館・近隣幼稚園保育園・子育て支援室・麻生区役所他)		
取組実施により 見込まれた効果	午前中は乳幼児親子が遊びに来てお昼過ぎには、幼稚園帰りの親子が遊びに来ていた。公園での『ランチ会』は、初めましての子どもや親たちが親しく話す機会として有効だった。子育ての悩みや近隣の遊び場情報等を話すママたちの傍らで子どもたちが、泥だらけ水浸しで伸び伸びと遊んでいた。 公園に来ていた小学生も時には乳幼児と関わり工作コーナーで創作したりしていた。学校に行かずに過ごす小学生が 1 人遊びに来てゴロゴロしたりゲームをしたり大人たちと話したりたまには乳幼児と遊んでくれたり片付けを手伝ってくれたりした。 引っ越して来たばかりだと話す乳幼児親子、わが子が不登校で遊びに連れ出して来たと話す母親、月 2 回の遊び場だったけれど様々な出会いがあった。檜山公園の自然の中だからこそ気楽に話しが出来る空気があったと思う。子どもたちは、平たんではない草っぱら広場で走り回りよく転んでいた。段々に転び方が上達して大した痛手を負わなくなっていく子ども、転ぶ手前で踏ん張れるようになる子ども、各々に経験して学び子どもは自ら育つのだと実感した。 親同士のコミュニケーションがあればこそその見守れる、待てる、環境が子どもの遊びと育ちを豊かにしていると実感できる活動となった。		